

図書館だより

2015年度
9月8日発行

第4号



新しく入った本の紹介

楽しかった文化祭も終わり、ちょっとだけ秋らしくなり、本でも読みませんか？
昼休み＆放課後に開館していますので、ぜひ遊びに来てください！



◆ブラックバイト

著者：大内裕和・今野晴貴
過労死ラインを超えたシフト、商品の自腹購入、パワハラや暴力。法律違反の契約書を「これが社会」と従属させる。



◆新・沖縄修学旅行

著者：梅田正巳・松元剛
沖縄戦から基地問題、自然、歴史、暮らしと文化まで、120点の写真と地図・図版を添えて解説する、最良の沖縄入門書。



◆ひめゆりの少女 十六歳の戦場

著者：宮城喜久子
沖縄戦開始の夜、「赤十字看護婦の歌」を歌い陸軍野戦病院へと出発したひめゆり学徒隊。少女はそこで何を体験し、何を感じたのか。



◆「アナと雪の女王」の光と影

著者：叶 精二
なぜ「アナと雪の女王」が、これほどまでに支持されたのか。ヒットの秘密を多角的視点から分析。



◆すみません。介護のしごと、楽しいです。

著者：のちりょうこ
ふたりの「新米」介護スタッフが見た認知症の世界を、笑って泣ける文章＆マンガで再現。



◆格差の世界地図

著者：岸上伸啓
経済、政治権力、社会、健康保健、教育、環境などの様ざまな視点で、他面的に格差を解決。



「しごと場見学！」 シリーズ

仕事の現場としくみがわかるーこれは必読です！

ラフカディオ・ハーンの英作文教育 著：アラン・ローゼン

ラフカディオ・ハーンは日本に、日本の若者に何を感じ、何を伝えたかったのか。教育者ラフカディオ・ハーンを明らかにする一級資料。

新版 少女・十四歳の原爆体験記 ヒロシマからフクシマへ 著：橋爪 文

勤労動員先で被爆し、奇跡的に生き延びた少女は、死の街を縦断してわが家へ向かった…。被爆の実相と人々の姿を描いたノンフィクション。

本を読むってけっこういいかも 著 香山リカ

「腰を据えて一冊の本を読む、という読書体験は、ストレスや欲求不満などを解消し、硬くなっている部分を柔らかくほぐしてくれる」

ハイトスピーチってなに？レイシズムってどんなこと？ 著 のりこえねっと編

差別・偏見・攻撃の言説を執拗に繰り返すヘイトスピーチ

ソンをしない専門学校選び 著 佐藤忠夫 学校選びは職業選び！

京都歴史ウォーキング 龍馬・新選組の道を歩く 著 乾ひとみ他

幕末の史跡を巡るコースをテーマ別に紹介

コピペと言われないレポートの書き方教室ー3つのステップ 著 山口裕之

ごまかし勉強 上、下 学力低下を助長するシステム 著 藤澤伸介

信じられない「原価」 買い物で世界を変えるための本 全3巻 著 こどもくらぶ

移住・移民の世界地図 著 竹沢尚一郎他

温暖化の世界地図 第2版 著 近藤洋輝

元素生活 著 寄藤文平

絵とキャラクターで見る、イキイキ元素の世界

